

精神看護 第24巻 総目次

2021年 1号(=1月号)、2号(=3月号)、3号(=5月号)、4号(=7月号)、5号(=9月号)、6号(=11月号)
表示は、「題名：著者，号数，開始ページ。」

特集

[1月号]「生活保護」の本丸に迫る

生活保護を利用している方たちに直接話を聞いて見えてきたもの：谷山牧，1，6。
政治的に受け入れられる方法としてベーシック・サービスを提案する：井手英策，1，12。
生活保護受給者への保健師による健康管理支援の実践：藤田恭子，1，32。
生活保護受給者への健康管理支援事業の経過と事業内容：浅沼奈美，1，36。
米国のTANF！ この考え方と仕組みが、日本の就労支援の参考になる：谷山牧，1，39。

[3月号-1]ピアサポーターを活用すると、こんなに素晴らしいことが起きる

1 ピアサポーターが、1つでも多くの精神科病院の扉を開けられるよう願っています：コレット美喜，2，101。
2 多様な生活のあり方のロールモデルを示せるのはピアサポーターだけです：小林乃愛，2，106。
3 患者さんがもともと持っていた生きがい、趣味、興味関心を引き出すピアさんの力：八木悦子，2，108。
4 話に耳を傾けながら、何かプラスの要素がないかを考えるようにしています：角和恵，2，110。
column ある日のピアサポートの現場，2，112。
地域移行支援事業を利用して退院した方に聞きました。「ピアサポーターはあなたにどんな影響を与えましたか？」：内田貴也，コレット美喜，2，114。
5 「すでに本番なのだ！仲間と一緒にならんとなかなる～」の空気感を届けたい：中島裕子，木村純一，2，117。

[3月号-2]精神科看護をフル活用して、フリーランスとして働く

《その人らしく生きる》に向かって、対話を通してパートナーに伴走する仕事です：坂本岳之，2，121。
なんでも屋であり、隙間産業でもある。いろんな組織のニーズに応えるダイナミックな仕事です：村本好孝，2，127。
看護7割、ダンス3割。人に何かを教える時の基本は精神科看護：シーサー，2，132。

[5月号-1]「身体拘束最小化」をしたいが、どうしてもできない部分。それこそを話し合おう

／小貫洋子，大沢岳征，雨宮栄子，安藤由紀，貝田博之
ふらついて危ないからと車椅子ベルトを装着し、そのまま座らせている時間が長く、筋力が落ち、ベルトが外せない状態に。3，207。
転倒すると、付いていたスタッフが責められる雰囲気。それも拘束外しに挑戦できない原因に。3，210。
一度拘束したら、外すためのカンファレンスが開かれにくい。3，212。
指導者がいなさすぎる。3，214。
医療安全や、職員ができることの限界を考えると、どう考えていけばいいのかわからなくなる。3，215。
当院はトップダウンではありません。どうやって職員の意識と動きを変えていけるのか。3，217。
使えば抑制しなくて済むかもしれない道具が使われず余っている。一方で、離床センサーだけはいつも足りない。3，218。
本人の意思不在で胃管チューブを設置し、長年抑制。いったい誰のための医療なのか。3，220。

[5月号-2]看護学生、臨地実習体験のリアル

1 学生の臨地実習が私に思い出させてくれること：畠山卓也，3，223。
2 精神看護学実習による学生の成長体験—その語り、レポート、記録から：清水隆裕，3，229。
3 実習で揺れ動く学生の感情：毛利智果，3，234。

[7月号-1]私が大事にしている看護観

あの患者さんたちのことを忘れず、自分はこれからもやれることをやる：長嶺真智子，4，300。
「どう生きたいかにおいては、本人の動機、主体性が最重要」：栗原信広，4，305。
「自分の感情も認め、人間同士としてかわり合いたい」：増田里美，4，308。
「聴く」ということ：社本昌美，4，309。
「寄り添うこと」：山崎文雄，4，311。
「自分の考えや行動の中心に誰がいるのかを常に問うこと」：小瀬憲二，4，312。
「非自発的な入院がある精神科だからこそ、可能な限り患者さんの立場で考える」：早川達也，4，314。

忘れられない患者さん・人のこと

入院45年。「俺の若い時間を返してよ」／症状ではなく人を見ることが：新田マリア，4，316。
自転車に乗る練習から付き添い、無事退院した患者さんのこと／気づけなかったSOSに、今でも後悔。つらかった経験：成瀬光，4，319。
5時間面接事件。でも、巻き込まれ、失敗しながら、距離感や接し方を学ぶことも大切ではないか：栗田真由美，4，321。
患者さんに本音で向き合い、治療する医師との出会い：成嶋のり子，4，323。

[7月号-2]教えて先輩！看護って何？ 現場のどうしよう、困ったを解消する看護理論【それで順調】編

ロイの「適応システム」で、それで順調の巻：中村創，水谷緑，4，326。

[9月号-1]そうだったのか！「幻聴・妄想」 私たちができる意義ある対応とは

「幻聴・妄想」ってどういうもの？ 看護は何ができるのか：中村創，5，394。
改めて、「統合失調症」とはどんな病気なのか？：中村創，5，404。

[9月号-2]教えて先輩！看護って何？ 現場のどうしよう、困ったを解消する看護理論【統合失調症の理解】編

阿保順子先生の「保護膜モデル」で統合失調症を理解するの巻：中村創，水谷緑，5，407。

[11月号-1]「強制入院」の体験を語る

「座談会」当事者と精神科医とで、「強制入院」に対する率直な思いを話し合おう：堀合研二郎，みずめ，サルーテ，藤井哲也，杉浦寛奈，6，506。
私は身体拘束を生き延びたのか？：匿名，6，518。

[11月号-2]「退院支援マップ」で、患者さんのセルフモニタリング力を高めよう！ 精神科急性期病棟で、看護師・作業療法士が協働

看護師はこう考え、こう動いた：鈴木美央，6，538。
作業療法士はこう考え、こう動いた：浪久悠，6，548。
入院からデイケアスタッフがかかわるようになって、流れが一変：川越大輔，6，553。

特別記事

「当事者研究」と生命のリズム(前編) 一中井久夫の臨床思想に学ぶ：村澤和多里，4，356。

「当事者研究」と生命のリズム(後編) — 「憑きもの」から「個人症候群」へ：村澤和多里，5，442。
薄氷のような連帯：中村佑子，6，526。

エッセイ

僕が推したい「ケアをひらく」シリーズの3冊：眞榮和紘，2，155。

話題

「暦」を使った人材活用術：佐崎航大，1，86。

投稿

統合失調症の患者さんへの私のかかわり体験談—失敗も、良かったことも、後輩に伝えたい：成嶋のり子，5，428。

研究

参加メンバーの感情表出を促すマッピングシート活用プログラムの有用性：清水隆裕，5，473。

連載

●**たくさんの人の声、Twitterで集めました！—SNSの利点を活かして、同じ領域で働く仲間と交流してみませんか／マツコ，TOKIYAPI，田端恭兵，眞榮和紘**

- (2)「ここが変だよ精神科。私が目撃&体験した不思議ルール」，1，48。
- (3)「夜勤を乗り越えるための工夫」を教えてください。，2，140。
- (4)「精神科領域の知恵や技術」の魅力を広めよう！，3，238。
- (5)「Youはどうして精神科に？」，4，350。
- (6)日頃の感謝の気持ちを伝えよう。「拝啓 ○○様 実はお世話になっています」，5，450。
- (7)精神看護にかかわるみんなで「もしバナゲーム」をやってみよう，6，570。

●**患者さんと社会との接点を整えるシンデレラ・メイク講座／新田マリア**

- (2)チークに注目，1，90。
- (3)その人らしさ×新しい美的感覚，2，192。
- (4)TPOに合わせる，3，282。
- (5)メイクの効果を検証する，5，481。
- (6)香りの効果を活かす，6，576。

●**当事者研究のスキルバンク／べてるの家**

- (21)本日の研究者：めっちさん 本日のスキル：べてるの三密実践法，1，94。
- (22)本日の研究者：ホーマンさん 本日のスキル：五感当事者研究法，2，198。
- (23)本日の研究者：めえちゃん 本日のスキル：ママ友や仲間とベチャクチャおしゃべり法，3，292。
- (24)本日の研究者：けんさんと仲間たち 本日のスキル：ほめほめシャワー注入法、ほか，4，386。
- (25)本日の研究者：かずさん 本日のスキル：脱力系当事者研究持続法，5，498。
- (26)本日の研究者：よしさん 本日のスキル：音に対する信頼取り戻し作戦，6，590。

●**間の間／伊藤亜紗**

- (16)言葉の味，1，1。
- (17)騙しが必要，2，97。

●**編集部がすっごくオススメする映画「これ観たほうがいいですよ！」**

- (4)時間が矢印を失った時：金子丸九，3，290。

●**渡邊恭佑の、「なんでもつないじゃいます」コーナー**

- (6)芸術と動物は、私のメンタルを支え、感性を磨いてくれる存在：飯塚良子，1，63。
- (7)ディズニーはお手本。創造力を発揮しながら前向きに働く職場へ：新美浩二郎，2，146。
- (8)ランニングとボクシングとアロマ、そして看護を教えるということ：中野誠子，3，270。

(9)断捨離と私と看護：尾崎景子，5，454。

(10)No Bowling ⇔ No Life, No Nursing!：玉乃井雅浩，5，459。

(11)ソーシャルフットボール×看護：河合孝宣，6，580。

●**木田っちの、こんな所に行ってみたっち。**／木田塔子

- (4)路上生活を送る人から見た生活保護，1，44。
- (5)雑誌販売でホームレス状態の人の自立を応援する『ビッグイシュー』，2，178。

●**トラウマインフォームドな精神保健医療福祉のパラダイムシフト／熊倉陽介**

- (3)ただ「居る」ことを保障しよう，1，80。
- (4)足の爪を切ろう，2，168。
- (5)話し合おう，3，258。
- (6)共に考えよう，4，380。

●**「ゼロ」からはじめるオープンダイアログ／斎藤環**

- (3)ジャック・ラカンの精神分析，1，74。
- (4)批判としての「否定神学」，2，186。
- (5)こんなに“使える”否定神学，3，248。
- (6)否定神学はいかに批判されたか，4，374。
- (7)なぜ精神分析は「過程」を語れないのか，5，492。
- (8)「プロセス」をめぐる逆説，6，584。

●**もっと聞かせて皆さんの声**

- (1)今回のテーマ：「私が大事にしている看護観」：山本侑里，追田葉月，河合正樹，菊力弥，三浦貴裕，富岡健二，田代匡純，玉乃井雅浩，金裕美，谷川寛郎，1，56。

●**精神科の患者さんの感動・驚愕・奇跡の一言／山下隆之**

- (1)「桜の花が咲きましたね」「病院は俺のカネを搾取してました」，2，150。
- (2)「身体診察したいんですよ。したら!」，3，244。
- (3)「自分でも不思議ですが、トイレから10分で出られました」「お母さん、ありがとう」，4，344。
- (4)「いつも私が病人で夫がいい人なのはつらいです」，5，438。
- (5)「母ちゃんは死んだ」「水を出せ!」，6，556。

●**トラウマインフォームドアプローチが必要なケースの現実を書く／山田嘉則**

- (1)身体拘束，2，174。
- (2)中絶というトラウマ、周産期という危機，3，254。
- (3)離婚後面会交流に子どもの声を，4，370。
- (4)子ども虐待 親にもケアを，5，484。

●**木田っちの、介護ヘルパーをやってみたっち。**／木田塔子

- (1)未知なる時間との遭遇，4，364。
- (2)透明になれない、不透明な私，5，488。

●**精神疾患の「病態理解」にもとづいた看護／中村創**

- (1)うつ病の人にどのように看護をするか，[Lecture]改めて、「うつ病」とはどんな病気なのか?，6，560。

書評・書論

「身体拘束最小化」—この言葉に心がうずく人こそ読んでほしい：安藤由紀，1，68。

夜の語り手：藤山直樹，2，160。

医療現場でトラウマをどう扱うかをまとめた稀有な本：伊藤絵美，3，265。

開示・非開示・職場のトイレ：新澤克憲，3，266。

土管と写真：村上靖彦，3，288。

ASDはSF的、ADHDは落語的。：高野秀行，5，462。

『やってくる』を読んで「やってきた」もの：冨塚亮平，5，468。

ニュース

ご自愛してますか？ ハートランドしぎさん作『ごほうび大全集』のご紹介：松村麻衣子，3，274。